2012 年　8 月 10 日・山梨日日新聞 「文化」欄では

脱原発訴える 218 人の詩集

国内外の公募 240 編収録

放射性物物質の脅威や脱原発を訴えた詩集「脱原発・自然エネルギー 218 人詩集」（コールサック社、鈴木比佐雄・若松丈太郎・矢口以文・鈴木文子・御庄博実・佐相憲一編）が刊行された。

国内外から公募した詩約 240 編を掲載している。日本人だけでなく、米国や英国、インド、韓国など海外の詩人 23 人も参加。外国の読者にも届けるため、全ての詩の英訳も収録している。

序文には音楽家の坂本龍一さんのスピーチを引用。11 章構成で、大震災と原発事故以前に、原発の危険性を訴えていた詩を集めた章や、福島出身者の章、福島に寄せる海外詩人の章などがある。

山梨県関係者では、こまつかんさんの「指から始まった」のほか、原発子さん、安永圭子さん、野いちご大福さん、橘田活子さんの作品が掲載されている。

鈴木比佐雄編集発行人は「世界の人に福島や原発について考えてほしくて作った。第 2 第 3 の福島を生み出してはならない」と話している。

と紹介されています。